

令和8年3月10日
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
福島廃炉安全工学研究所
大熊分析・研究センター

放射性物質分析・研究施設別棟新設に係る実施計画変更認可申請について

日本原子力研究開発機構が計画しております放射性物質分析・研究施設別棟（以下「別棟」という。）の新設に関して、3月9日に東京電力ホールディングス株式会社から原子力規制委員会に対し、「福島第一原子力発電所 特定原子力施設に係る実施計画」の変更認可申請を実施しましたのでお知らせします。

【放射性物質分析・研究施設別棟の概要】

■ 施設の設置目的

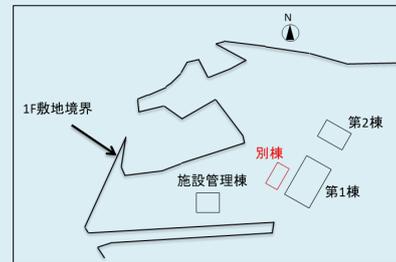
福島第一原子力発電所から発生した液系試料（ALPS処理水など）に含まれる放射性物質の分析を実施するための施設を設置する。

■ 施設の概要

- ✓ 建設場所：1F構内 第1棟西側エリア
- ✓ 建屋構造：鉄筋コンクリート造、2階建て（耐震クラス：Cクラス）
- ✓ 建屋規模：延べ面積 約900m²（1階：約850m²、2階：約50m²）、高さ 約7m
- ✓ 内装設備：フード（24基）、分析機器（Ge半導体検出器、液体シンチレーションカウンタ、αスペクトロメータなど）
- ✓ 分析対象物：液系試料（ALPS処理水など）

■ スケジュール

- 2026年3月9日 実施計画変更認可申請
- 2027年11月末 竣工



建設予定地
(放射性物質分析・研究施設第1棟の隣り)